

■事務局より

◆コロナ禍 連絡会事業ご理解とご協力を

コロナ禍の影響は、連絡会事業においても影響を受けています。これまでの参集によるイベントや県外講師への依頼、アドバイザー事業など、当たり前前に実施できていたものができなくなっています。オンライン研修の充実、感染予防に配慮し規模を縮小した研修など、可能な範囲で進めていかれますが、コロナの時代にあり先が見通せない中で、新しい体制づくりが求められることもまた確かです。試行的な取組みも多いと存じますが、会員の皆様にはご理解ご協力をお願い致します。

◆送迎時は安全運転を心がけましょう

6月に、県内において送迎中に死亡事故が報道されました。要介護等の高齢者の輸送は、特に安心安全の運転が求められます。ちょっとした油断が大きな事故に結びつきますので、送迎を担当される職員の方にはしっかりとした指導をお願いしたいと思います。

◆コロナ禍対策関連助成金活用情報

コロナ禍の中、地域共生ステーションにおける多様な支援の充実を目指すために、各事業所におけるPC・インターネット・Wi-Fi環境・オンラインツール等の環境インフラの整備を目的に、佐賀未来創造基金、市民福祉団体全国協議会佐賀支部と協力し、休眠預金を財源とする助成金の活用を検討しています。助成の詳細が決まりましたらお知らせいたします。

【佐賀県地域共生ステーション連絡会】

■8月19日(水) 世話人会の開催について(14時開催に変更しました)

前回はコロナ禍ということで、ZOOMを使用したWEB会議を試行的に実施しています。今回は感染対策をした上での参集と、オンラインも活用したいと思います。各事業所・地域の状況を勘案し、どちらかでご出席ください。13時30分開催から、14時開催に変更しておりますのでお間違えのないようお願いいたします。

■参集：市民生活支援センターふくしの家 3F会議室

■オンライン：後日、URLを送付致しますので、当日そこからお入りください。

■委託事業(開設等支援事業)の一部変更の要請 佐賀県

連絡会では、毎年「佐賀県地域共生ステーション開設等支援事業」として委託費(200万)を受け、佐賀県ゴールドプランの計画に基づき、地域共生ステーションの充実に資する事業を実施しています。

現在、委託費の財源は「地域医療介護総合確保基金」になっています。この基金を活用して事業を委託されており、委託費の使途は主に「担い手の確保に資する事業」ということになっています。これまでに実施した「地域共生交流イベント」「地域支え合い担い手養成」などの事業はその根拠に基づいてのものです。

佐賀県から7月に入り、更にこの基金の使途について具体的見直しを求められています。参考までに、佐賀県がこの基金事業で地域共生ステーション連絡会に依頼している事業は次のようなものです。

記

《根拠となる厚生労働省の通達》介護予防・日常生活支援総合事業がトピックQ&A【平成27年8月19日版】

「都道府県では、①生活支援コーディネーター、②一定程度専門的な生活支援サービス、③広域的な活動に携わる輸送、④配食等の担い手の養成を、平成27年から創設された地域医療介護総合確保基金（介護分）を活用し実施する。」

佐賀県は上記を根拠に連絡会に委託しています。実施主体は「佐賀県」、①は生活支援コーディネーターの養成ということで、各地域共生ステーションを第3層の生活支援コーディネーターとみなし、経営者・従業者向けの研修等を実施したり、②の一定程度専門的な生活支援サービスにおいては、住民や関係者の担い手養成をはじめ、地域共生ステーションの多機能や地域づくりの視点をアドバイザーやパンフ・MM等で啓発するなど実施してきた次第です。

今回の佐賀県からの計画見直しの要請は、これまでの①と②の事業のボリュームの範囲内で、③の「広域的な活動に関わる輸送の担い手の養成」、及び④の「配食等の担い手の養成」を追加するというものです。

今後はこれらを追加した事業提案になります。そこで今年度は③の輸送の担い手養成の一環として、8月と11月に開催予定となっている、国土交通大臣認定の福祉有償運送講習の「受講費補助事業」を検討しています。福祉有償運送はもとより、デイサービス等の送迎、その他の個別的な輸送、たすけあいによる移動支援等において、安心安全が担保される資格取得の講習会となっています。近日中に補助事業のチラシを作成しご案内しますので、是非ご検討・お申込みください。

それに合わせ、生活支援の一環として、輸送における「道路運送法の登録又は許可を要しない活動」について、自分の事業所でも取り入れたいというところはアドバイス事業も実施しますので関心のある方は、ご相談ください。

■第1回佐賀県地域共生ステーション資質アップ研修(WEB研修)報告

6月20日(土)10時から12時、WEB研修を実施しました。「特定技能(介護)における外国人雇用」と講師と題し、株式会社ホットライン(佐賀市)佐藤良輔氏から外国人養成の実際や、今後の外国人の可能性などについてお話していただきました。19名の方が参加され、連絡会の数団体からすでに雇用の申込につながっています。はじめてのWEB研修でしたが、とてもわかりやすかったという声も届きました。

今回の特定技能外国人雇用のWEB研修は、再度年度内に実施予定です。開催日時が決まりましたらお知らせいたします。

■佐賀県地域共生ステーション(宅老所・ぬくもいホーム)推進事業補助のパンフレットを作成しました。

6月25日に会員向けに送付しております。地域に密着した多様性のあるサービスや支援を、地域共生ステーションに付加していきましょう。地域との交流や居場所をご検討の方は活用されてみてはいかがでしょうか。

■地域共生ステーションの独自の取り組みをパンフレットに取り組みを

掲載しませんか。

会員の皆様、佐賀県、市町の地域共生ステーションに、取組事例を掲載した新しいパンフレットを送付しています。ある自治体からは要望があり再度数冊送付しています。今後特に軽度者の支援は、介護保険財源である介護予防・日常生活支援総合事業にシフトしていくことをイメージしていただき、無理のないできる範囲で、各々の地域共生ステーションを拠点に、地域づくりの多様な支援づくりに参画ください。取り組みを掲載したいという方は、パンフレットの最終頁にフォーマットをつけていますので、事務局までお問合せください。

■地域共生ステーションアドバイザー事業について(変更)

30件程度の訪問が予定されていましたが、コロナ禍により15件程度を見込んでいます。具体的な日程は未定ですが、コロナ禍の状況、佐賀県の意向など踏まえながら検討してまいります。世話人皆様や会員の皆様に佐賀県とのご同行をお願い致しますので、その際はご協力をお願い致します。

■佐賀県が位置づける「ぬくもいホーム」とは

佐賀県では、登録のあった「宅老所」及び「ぬくもいホーム」を総称して地域共生ステーションとし、地域福祉づくりの拠点として佐賀県独自の施策として支援しています。「ぬくもいホーム」とは、高齢者事業に加え、子どもや障がい児者等を受け入れたり（共生）、又はその他の多様な地域に密着した生活支援を展開するといった施設で、各々の施設の名称に関わらず、佐賀県がその機能により選別した独自の呼称のことをいいます。ワンストップの地域の中の困り事に応じられる、色んな支援ができる施設づくりはこれからの流れになっていきます。是非、「ぬくもいホーム」を目指していきましょう。

■市民福祉団体全国協議会 佐賀支部が開設されています

佐賀県は、地域活性化を目的に、各分野で活躍するCSO（市民社会組織）を誘致しています。その取り組みの9団体目として、認定NPO法人市民福祉団体全国協議会佐賀支部をこの度誘致し、4月1日から開設されています。3月19日に、佐賀県知事・佐賀未来創造基金（山田健一郎理事長）と進出協定が結ばれています。※市民協ホームページ <http://seniornet.ne.jp/>

■協議体(話し合いの場)に参加しましょう!!

地域共生ステーションの皆様は、地域に密着した事業展開を進めておられるところも多いと思います。介護保険の中でも、地域を意識した取り組みが重要視される施策へと変化しつつあります。2025年以降、爆発的に増えると見込まれる生活支援や軽度者の支援に対応できる事業所づくりを今から始めていきましょう。

協議体は県内で少しずつできていきますので、地域共生ステーションが各々の地域の資源になるためにも、積極的な参加をお勧めいたします。

【地域情報】

■ブロック・会員活動・連絡会以外の地域イベント情報等

※各地域共生ステーションやそれ以外の地域の情報をMMで配信しますので、メールでの情報提供にご協力ください。（fukusinoie@world.ocn.ne.jpまで）

中部ブロック (佐賀市・小城市・多久市・神埼市・江北町・大町町)

■7/22 14:00 佐賀中部ブロック会議が、ふくしの家「来ん家」で開催されています。

■令和2年度佐賀市高齢者保健福祉計画作成委員

佐賀市から依頼を受け、令和3年から令和5年までの佐賀市高齢者保健福祉計画作成のための委員に、世話人で保健師の ひがたの里 伊藤もと子さん を昨年に引き続き推薦しています。宜しくお願い致します。

西部ブロック (武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・太良町)

北部ブロック (唐津市・伊万里市・有田町)

■7/15 13:30 唐津地区ブロック会が、唐津市高齢者ふれあい会館「りふれ」で開催されています。宅老所等の現状と今後というテーマで話し合われました。

東部ブロック (鳥栖市・みやき町・吉野ヶ里町・上峰町・基山町)

ブロック代表の皆さま、情報提供にご協力ください。

.....

【さが福祉移動サービス・ネットワーク】

■8月22日(土)、23日(日)

国土交通大臣認定 移動サービス認定運転者講習

福祉有償運送資格取得の講習会です。福祉有償運送事業、4条ぶらさがり許可の訪問介護事業所など受講ください。その他福祉施設等で送迎にあたられる方や、道路運送法の登録又は許可不要の活動をされている非営利組織などの移動サービス中の安全運行の講習としても推奨されています。

■受講条件

- ・県内在住で県内の事業所で活動予定の方
- ・受講者本人が過去2週間において受講当日までに、①咳・発熱・腹痛・嘔吐等の症状
②感染拡大地域での飲食外、③海外からの帰国、④家族や親近者等に①～④がない等
自認できる方

■会 場 鍋島シェストビル1F

■受講費 会員 10,000円 非会員 15,000円

※開催方法

- ・受講者はマスク持参・着用の上、会場は3密を排除した形式で実施します。
- ・休み時間毎に換気します。
- ・手指洗淨、消毒をお願いします。

申込書ダウンロード

<http://www.fukushinoie.jp/> から印刷し、

0952-36-6895 までファックスください。【☎0952-36-6865】

■日本カーシェアリング協会 佐賀支部が開設されています

佐賀県は、地域活性化を目的に、各分野で活躍するCSO（市民社会組織）を誘致しています。令和2年から一般社団法人日本カーシェアリング協会の佐賀支部が、武雄市東川登町に誘致されました。熊本豪雨では多くの車両を被災地支援のために貸し出しています。石巻の被災地支援から生まれた、コミュニティーカーシェアリングは、いま地域の高齢者の足として全国に広がっています。さが移動ネットも応援していきます。

■シルバー人材センター受託 福祉車両送迎運転者講習会

- ・6月29日、30日 鳥栖市役所 終了10名受講
- ・10月6日、7日 佐賀市文化会館
- ・11月17日、18日 武雄市勤労者福祉会館

上記日程で開催予定です。受講者は各10名程度。これまで福祉有償運送講習として実施してきましたが、福祉車両送迎運転者講習会となりました。お申込み受付は、佐賀県シルバー人材センター連合会になっています。

■DVD 住民主体の移動・外出支援って何？

DVD「～地域にあるクルマと人で行く支え合いのしくみ～住民主体の移動・外出支援って何？」がNPO法人全国移動サービスネットワークから好評発売中です。住民による登録や許可を要しない運送の実践が収録されています。

■佐賀県の福祉有償運送団体

令和2年6月1日時点で、34団体となっています。県内でも地域によっては移動サービスを実施できるところが不足しています。社会貢献の一つ、サービスの一環として、是非参画下さい。福祉有償運送を実施したい団体様は相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

http://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji0031144/3_1144_25454_up_036ena15.pdf (佐賀県HPより)

■佐賀県の国土交通大臣認定福祉有償運送講習団体

- 1 さが福祉移動サービス・ネットワーク（通常講習年間4回開催）
講習内容 福祉有償運送・セダン型講習
- 2 NPO法人市民生活支援センターふくしの家（臨時講習のみ）

上記、2団体が認定を受けています。通常講習以外にご依頼がある場合は、ご相談ください。

.....

【配信元】

佐賀県地域共生ステーション連絡会

佐地共連ホームページ <http://sachikyoren.com>

さが福祉移動サービス・ネットワーク

住所

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号（鍋島シエストハーモニービル3F）

NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内

TEL：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

メール：fukusinoie@world.ocn.ne.jp

※このMMニュースは、関係行政機関にも配信しています。